

阪南市埋蔵文化財発掘調査概要 XXVI

2009年

阪南市教育委員会

## はしがき

本書は平成20年に阪南市教育委員会が個人住宅などの建設工事に先立って、国庫補助事業として実施した発掘調査の報告です。こうした調査は毎年実施していますが、平成20年には9遺跡、20地点での調査を行いました。これらの調査は例年のことですが、ほとんど数m<sup>2</sup>の小規模な調査となっています。

このうち、箱作今池遺跡では土師質瓦漏が出土しました。当遺跡での瓦漏出土は初めての例となります。土坑の中に完形の土師質瓦漏が上下逆の状態で置かれていました。

土師質瓦漏は近世期後半から明治初期にかけて、製糖に使われた土器です。泉州地方では数件の報告があり、平成7年に行なった馬川遺跡の発掘調査でも完形の土師質瓦漏が上下逆に置かれた状態で出土していました。この調査区は江戸時代の寺院の隣地にあたり、甕を藏骨器に転用したと思われる墓穴が多く検出されたことから、土師質瓦漏も藏骨器に転用したものと考えられ、箱作今池遺跡においても製糖に使われていた瓦漏が藏骨器に転用されていたと思われます。

今回の調査は4m<sup>2</sup>という少な調査区で発見されたのですが、こうした小規模な調査の積み重ねにより資料やデータが蓄積され、地域の歴史、文化を知ることにつながることになると再認識しました。

最後になりましたが、調査にご協力をいただきました関係者の皆様にお礼申し上げます。

2009年3月

阪南市教育委員会



第1図 阪南市位置図

## 例　　言

1. 本書は阪南市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課が平成20年に国庫補助事業として計画実施した、阪南市埋蔵文化財発掘調査概要報告書である。
2. 調査は阪南市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課三好義三、田中早苗、上野仁、田之上裕子（平成19年度嘱託）、横田明日香（平成20年度嘱託）を担当として2008年1月から12月にかけて実施した。
3. 本書内で示した標高はT.P.である。
4. 調査にあたっては土地の所有者など、関係者各位の理解と協力を得た。ここに記して感謝の意を表したい。
5. 本書の執筆、編集は、上記の調査担当者が行った。また、発掘調査、整理作業は下記の調査従事者による。
6. 本書における記録は、実測図、写真、カラースライドなどに保存されている。

当

教育委員会にて保管しているので、広く活用されたい。

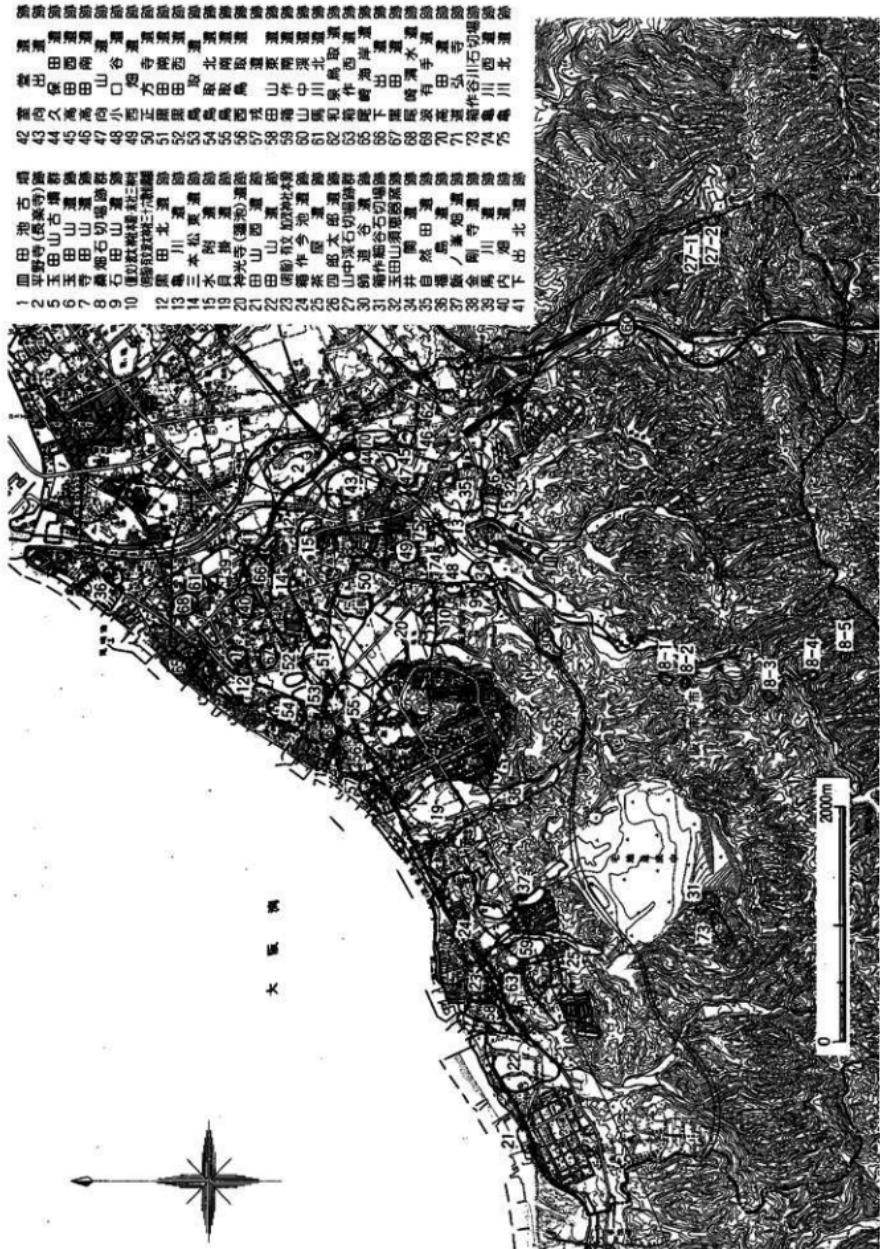
（調査従事者）

根無吉隆、南竹千代、杉田正千代、和田旬世、井上祥子、井上　進、島田万帆、

## 目 次

### 第1章 調査の成果

第1節 尾崎清水遺跡	(1) 07-2区	1
第2節 下出北遺跡	(1) 08-1区	2
第3節 神光寺(蓮池)遺跡	(1) 07-11区	3
	(2) 07-12区	4
	(3) 07-13区	
	(4) 07-14区	5
	(5) 08-1区	
第4節 向出遺跡	(1) 08-1区	6
	(2) 08-2区	7
第5節 向山遺跡	(1) 08-1区	8
第6節 自然田遺跡	(1) 08-2区	9
第7節 高田南遺跡	(1) 08-1区	10
	(2) 08-3区	12
第8節 箱作今池遺跡	(1) 07-2区	13
	(2) 08-1区	14
	(3) 08-2区	15
	(4) 08-3区	16
	(5) 08-4区	
	(6) 08-5区	17
第9節 田山東遺跡	(1) 08-1区	18
報告書抄録		19



第2図 阪南市埋蔵文化財分布図

# 第1章 調査の成果

## 第1節 尾崎清水遺跡

尾崎清水遺跡は1992(平成4)年度の民間開発に伴う事前調査で発見された遺跡である。その後の調査では包含層から縄文時代晚期の土器や古墳時代中期の竪穴住居が検出されている。

### (1) 07-2区 (第3~5図)

調査区は尾崎清水遺跡の北部に位置する。調査は調査区内に2.8m×1.8mのトレンチを設定し実施した。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡黄茶灰色土、第4層淡茶灰色土、第5層暗灰色土、第6層淡黄茶灰白色粘質土、第7層濃灰色粘質土である。

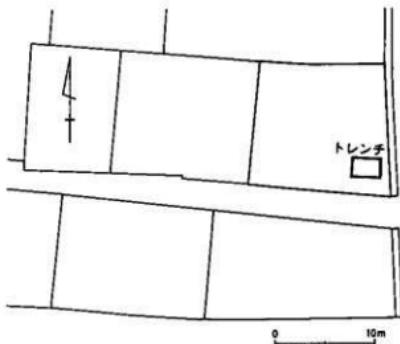
遺物は第2層から土師質土器、陶器、磁器、第3層から須恵器、土師質土器、瓦器、第4層から土師質土器、瓦器が出土したが、図示できる遺物はなかった。第2層は近世期、第3・4層は中世期の包含層と思われる。

今回の工事における掘削は第6層上面までであったため、それ以下の層序についてはサブトレンチでの確認を行った。今回の調査では第5~7層から遺物は出土しなかったが、周辺の既往の調査より包含層と判断し、地山の確認には至らなかった。

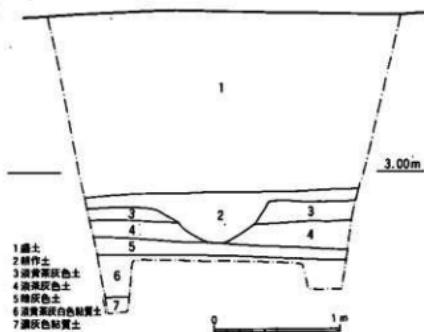
遺構は検出されなかった。



第3図 尾崎清水遺跡 調査区位置図



第4図 尾崎清水遺跡07-2区 トレンチ位置図



第5図 尾崎清水遺跡07-2区 トレンチ北側断面図

## 第2節 下出北遺跡

下出北遺跡は1995(平成7)年度の民間開発に伴う事前調査で発見された遺跡である。その後の調査で弥生時代の遺物が出土しているが、調査例が少ないため詳細は不明である。

### (1) 08-1区(第6~8図)

調査区は下出北遺跡の南部に位置する。

調査は調査区内に2.1m×1.3mのトレンチを設定し実施した。

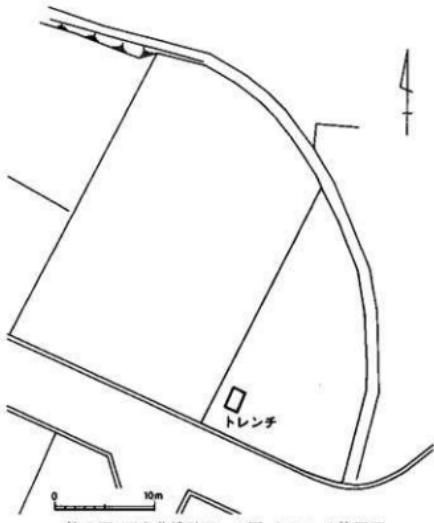
基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡黄灰色土、第4層明茶色土、第5層暗茶色礫混土の地山である。

遺物は第3層からサヌカイト、土師質土器、土師質管状土錘、青磁、磁器、第4層から須恵器、土師質土器が出土した。遺物から第3層は近世期、第4層は中世期の包含層と思われる。

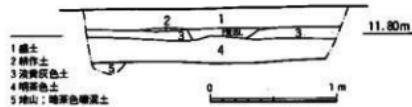
遺構は検出されなかった。



第6図 下出北遺跡 調査区位置図



第7図 下出北遺跡08-1区 トレンチ位置図



第8図 下出北遺跡08-1区 トレンチ東側断面図

### 第3節 神光寺(蓮池)遺跡

神光寺(蓮池)遺跡は市内において古くから知られている遺跡で、蓮池の底から出土した縄文時代草創期のサヌカイト製有茎尖頭器は、現在のところ市内で最も古い出土遺物である。その他に特筆すべきものとして、弥生時代中期の方形周溝墓を検出している。

#### (1) 07-11区(第9~11図)

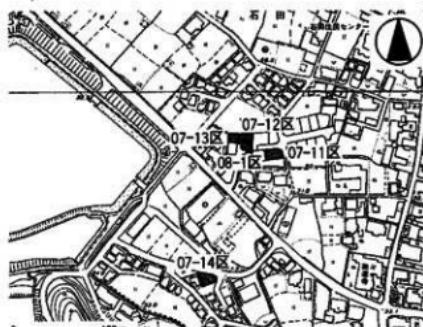
調査区は神光寺(蓮池)遺跡の南東部に位置する。既往の近隣調査では中世期の包含層が認められ、中世期の溝などが確認されている。

調査は2.5m×1.3mのトレンチを設定し実施した。

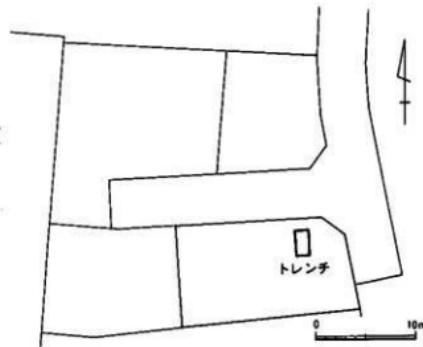
基本層序は第1層盛土、第2層淡灰橙色土、第3層灰黄色土、第4層灰色土、第5層淡黄灰白色土、第6層暗茶色土、第7層暗灰黄色粘質土(マンガン混)の地山である。

遺物は第2層からサヌカイト、土師質土器、瓦器、第3層から須恵器、土師質土器、瓦器、第4層から須恵器、土師質土器、瓦器、第5層から土師質土器が出土した。第2~5層は中世期の包含層である。

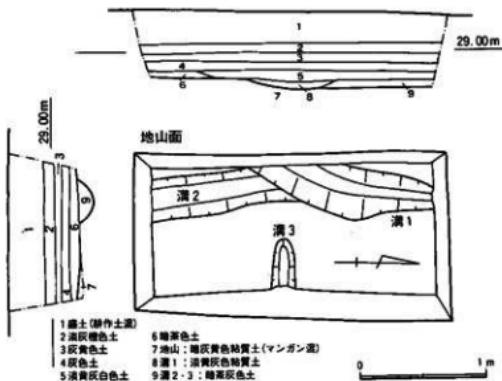
遺構は地山面で溝を3条検出した。溝1は長さ1.50m以上、幅0.40m、深さ0.07mの北西方向の溝で、溝2を切っている。埋土は淡黄灰色粘質土で、遺物は須恵器、土師質土器が出土した。溝2はトレンチを南北方向に貫いているが、溝1に切られている。幅0.40m、深さ0.11mを測り、埋土は暗茶灰色土で、遺物は須恵器、土師質土器、土師質管状土錐が出土した。溝3は長さ0.40m以上、幅0.18m、深さ0.07mの東西方向の溝で、埋土は溝2と同じ暗茶灰色土である。遺物は出土しなかった。すべて中世期以降の溝と思われる。



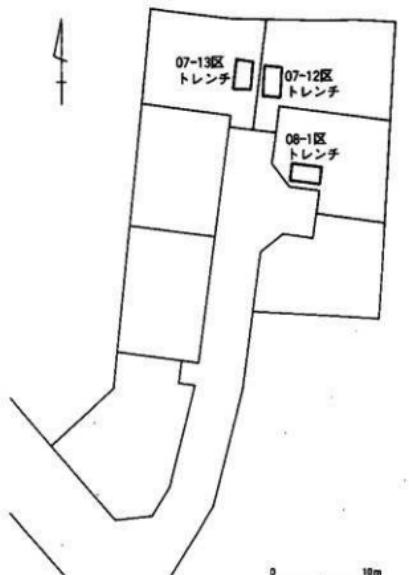
第9図 神光寺(蓮池)遺跡 調査区位置図



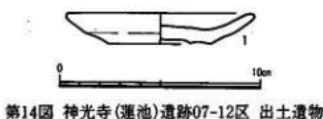
第10図 神光寺(蓮池)遺跡07-11区 トレンチ位置図



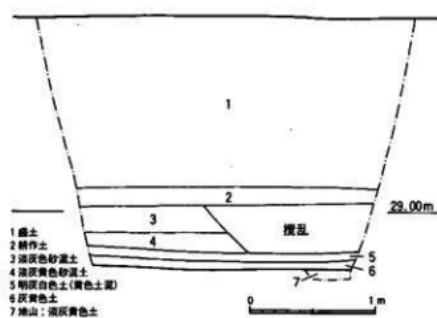
第11図 神光寺(蓮池)遺跡07-11区 トレンチ平面図・断面図



第12図 神光寺(蓮池)遺跡07-12区・07-13区・08-1区 トレンチ位置図



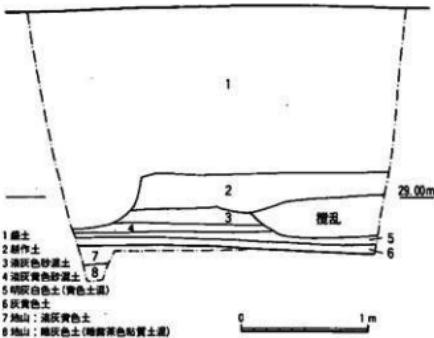
第14図 神光寺(蓮池)遺跡07-12区 出土遺物



第15図 神光寺(蓮池)遺跡07-13区 トレンチ西側断面図



第16図 神光寺(蓮池)遺跡07-13区 出土遺物



第13図 神光寺(蓮池)遺跡07-12区 トレンチ西側断面図

### (2) 07-12区(第9・12~14図)

調査区は神光寺(蓮池)遺跡の南東部に位置する。

調査は3.0m×1.7mのトレンチを設定し実施した。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡灰色砂混土、第4層淡灰黄色砂混土、第5層明灰白色土(黄色土混)、第6層灰黄色土、第7層淡灰黄色土、第8層暗紫茶色粘質土混じりの暗灰色土で、第7・8層は地山である。

遺物は第3層から須恵器、土師質土器、瓦器、第4層から土師質土器、瓦器、鉱滓が出土した。1は土師質土器の小皿で、底部は糸切りである。第4層から出土した。

今回の調査では第5・6層から遺物の出土はなかったが、隣接する調査区では中世期の遺物が出土しているため包含層と判断し、第7層以下を地山とした。

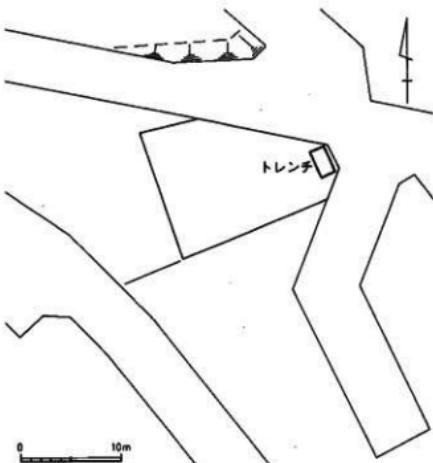
遺構は検出されなかった。

### (3) 07-13区(第9・12・15・16図)

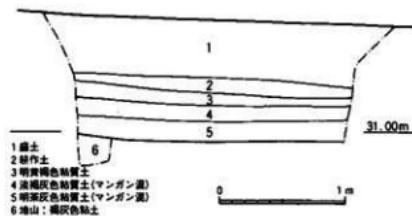
調査区は神光寺(蓮池)遺跡の南東部に位置する。

調査は3.0m×1.7mのトレンチを設定し実施した。

基本層序は隣接する07-12区と同じである。遺物は第3層から土師質土器、瓦器、第4



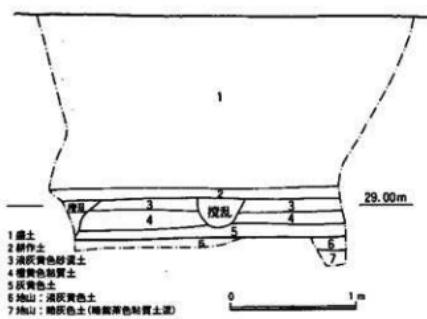
第17図 神光寺(蓮池)遺跡07-14区 トレンチ位置図



第18図 神光寺(蓮池)遺跡07-14区 トレンチ西側断面図



第19図 神光寺(蓮池)遺跡07-14区 出土遺物



第20図 神光寺(蓮池)遺跡08-1区 トレンチ南側断面図

層から須恵器、黒色土器、土師質土器、瓦器、第5層から土師質土器、瓦器が出土した。第3～5層は中世期の包含層と思われる。

1・2は瓦器碗である。第4層から出土した。遺構は検出されなかった。

#### (4) 07-14区(第9・17~19図)

調査区は神光寺(蓮池)遺跡の南部に位置する。

調査は2.8m×1.6mのトレンチを設定し実施した。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層明黄褐色粘質土、第4層淡褐灰色粘質土(マンガン混)、第5層明茶灰色粘質土(マンガン混)、第6層褐灰色粘土の地山である。

遺物は第3層から土師質土器、第4層から土師質土器、土師質管状土錐、第5層から土師質土器、瓦器、中世瓦が出土した。第3～5層は中世期の包含層と思われる。1は瓦器小皿である。

遺構は検出されなかった。

#### (5) 08-1区(第9・12・20図)

調査区は神光寺(蓮池)遺跡の南東部に位置し、07-12区に隣接する。

調査は3.0m×1.7mのトレンチを設定し実施した。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡灰黄色砂混土、第4層橙黄色粘質土、第5層灰黄色土、第6層淡灰黄色土、第7層暗灰色土(暗紫茶色粘質土混)で、第6層以下は地山である。

遺物は第2層から土師質土器、第3層から土師質土器、瓦器などの中世期遺物が出土したが、いずれも小片で図示できなかった。

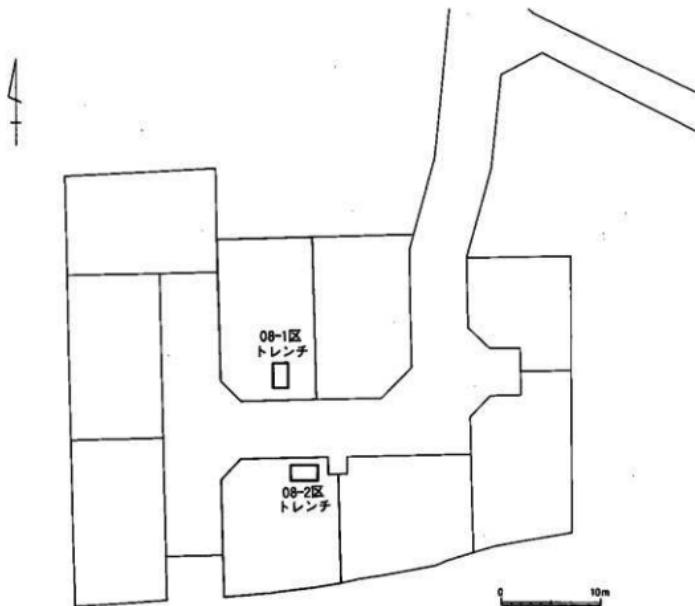
遺構は検出されなかった。

## 第4節 向出遺跡

向出遺跡は阪南市の東部を流れる中山川と菟砥川に挟まれた河岸段丘に位置し、東西約300m、南北約500mの遺跡である。南部では縄文時代後期から晩期の土坑墓群と思われる遺構、中央部では古墳時代中期の竪穴住居が数棟検出されている。また、中世瓦が主に東部からは出土しており、寺院などの存在が想定されるが、現在のところ明らかになっていない。



第21図 向出遺跡 調査区位置図

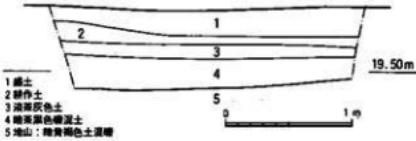


第22図 向出遺跡08-1区・08-2区 トレンチ位置図

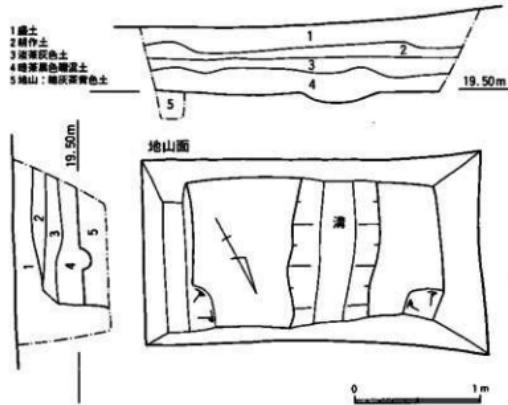
### (1) 08-1区 (第21~23図)

調査区は向出遺跡のほぼ中央部に位置する。調査は調査区内に2.5m×1.5mのトレンチを設定し実施した。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、



第23図 向出遺跡08-1区 トレンチ東側断面図



第24図 向出遺跡08-2区 トレンチ平面図・断面図

第3層淡茶灰色土、第4層暗茶黑色礫混土、第5層暗黃褐色土混疊の地山である。

遺物は第3層から土師質土器、瓦器、近世瓦、第4層から黒色土器、土師質土器、瓦器が出土した。遺物から第3・4層は中世期以降の堆積であると考えられる。

遺構は検出されなかった。

## (2) 08-2区(第21-22-24-25図)

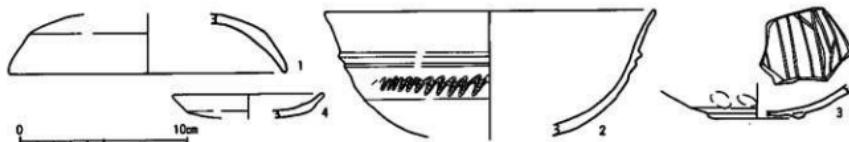
調査区は向出遺跡のほぼ中央部に位置し、08-1区の南側に接する。

調査は調査区内に2.7m×1.6mのトレンチを設定し実施した。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡茶灰色土、第4層暗茶黑色礫混土、第5層暗灰茶黄色土の地山である。

遺物は第1層から土師質土器、第3層から土師器、須恵器、土師質土器、瓦器、第4層から土師器、須恵器、土師質土器、瓦器が出土した。第3・4層は出土遺物から中世期以降の堆積であると考えられる。1・2は須恵器である。1は杯蓋で、稜線や口縁部の段がなく、胎土は比較的粗い。2は大型の無蓋高杯で2条の凸線の下に波状文をめぐらせ、さらに1条の弱い凸線がある。3は瓦器碗で、ヘラミガキは細く間隔があり高台は低く、外面には指押さえがみられる。4は土師質の小皿で、激しく二次焼成を受けている。全て第3層から出土した。

遺構は地山面で南北方向の溝とピットを検出した。溝は長さ1.20m以上、幅0.52m、深さ0.08mで、埋土は第4層と同じである。ピットは東側断面において確認されたが、検出には至らなかった。直径0.16m、深さ0.08mと推定される。いずれの遺構も埋土は第4層と同じである。遺物は出土しなかったが、中世期の遺構と考えられる。



第25図 向出遺跡08-2区 出土遺物

## 第5節 向山遺跡

向山遺跡は1987(昭和62)年度に阪南町教育委員会が行った埋蔵文化財分布調査で発見された遺跡である。1992(平成4)年度に(財)大阪府文化財調査研究センターが、また1992(平成4)年度と2003(平成15)年度には阪南市教育委員会が発掘調査を行った。(財)大阪府文化財調査研究センターの調査では、弥生時代後期から古墳時代中期にかけての竪穴住居や古墳時代後期の小石室、平安時代から中世期にかけての掘立柱建物群が検出され、当教育委員会の調査では、弥生時代後期の遺物を包含する土坑をはじめ、縄文土器を包含する土坑も1基検出した。

### (1) 08-1区(第26~28図)

調査区は、向山遺跡の北部に位置する。

調査は調査区内に $1.6m \times 2.45m$ のトレンチを設定し実施した。

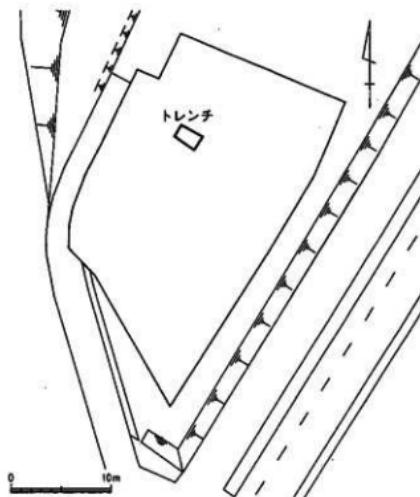
基本層序は第1層耕作土、第2層淡灰褐色土、第3層灰茶色砂質土、第4層淡茶色風化礫混土、第5層茶橙色風化礫混土で、第4・5層は地山である。

遺物は第3層から土師質土器が出土したのみであるが、周辺の既往の調査から近世期の堆積であると考えられる。

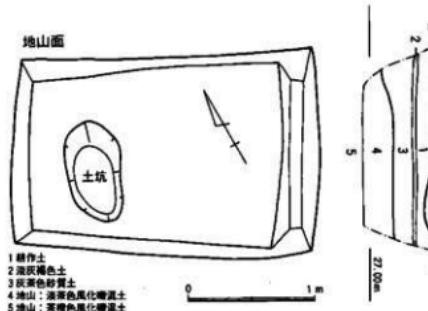
遺構は地山面で土坑1基を検出した。東西 $0.43m$ 、南北 $0.81m$ 、深さ $0.10m$ を測り、埋土は淡茶灰色礫混土である。遺物は土師器が出土したが、小片のため時期などは不明である。



第26図 向山遺跡 調査区位置図



第27図 向山遺跡08-1区 トレンチ位置図



第28図 向山遺跡08-1区 トレンチ平面図・断面図

## 第6節 自然田遺跡

自然田遺跡は1986(昭和61)年度、民間の宅地造成工事に伴う事前調査により発見された遺跡である。古墳時代後期の玉田山遺跡群を有する玉田山丘陵の北側平坦地に広がる。調査を重ねることで近年少しづつではあるが、遺跡の詳細が明らかになってきている。

### (1) 08-2区(第29~31図)

調査区は自然田遺跡の南部に位置する。

調査は調査区内に2.3m×1.2mのトレンチを設定し実施した。

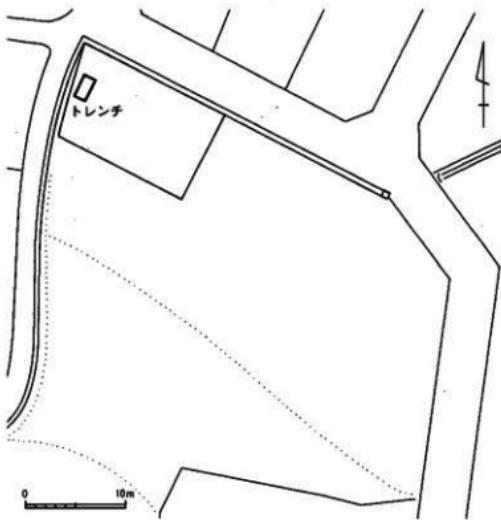
基本層序は第1層耕作土、第2層床土、第3層淡灰茶色土、第4層茶色砂質土、第5層明茶色粘質土の地山である。

遺物は第2層から陶器、磁器、第3層からは中世瓦が出土した。

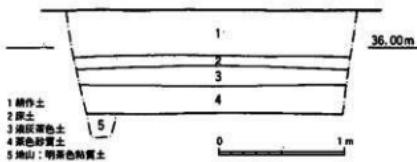
遺構は検出されなかった。



第29図 自然田遺跡 調査区位置図



第30図 自然田遺跡08-2区 トレンチ位置図



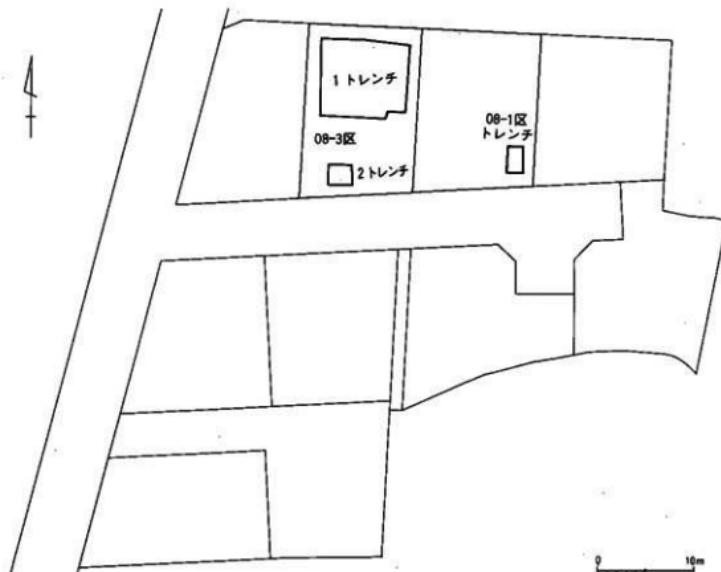
第31図 自然田遺跡08-2区 東側断面図

## 第7節 高田南遺跡

高田南遺跡は当市教育委員会が1988(昭和63)年度に行った埋蔵文化財分布調査によって発見周知された遺跡である。その調査では須恵器、土師器、瓦器、瓦、陶器、磁器などが採取されたが、その後、発掘調査は数件行われたのみで、詳細は不明である。



第32図 高田南遺跡 調査区位置図



第33図 高田南遺跡08-1区・08-3区 トレンチ位置図

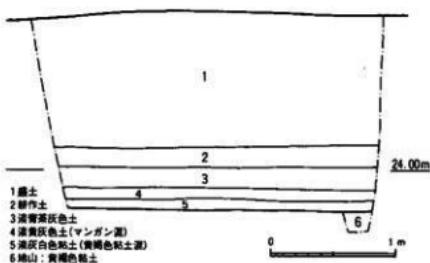
### (1) 08-1区(第32~34図)

調査区は高田南遺跡の北部に位置する。

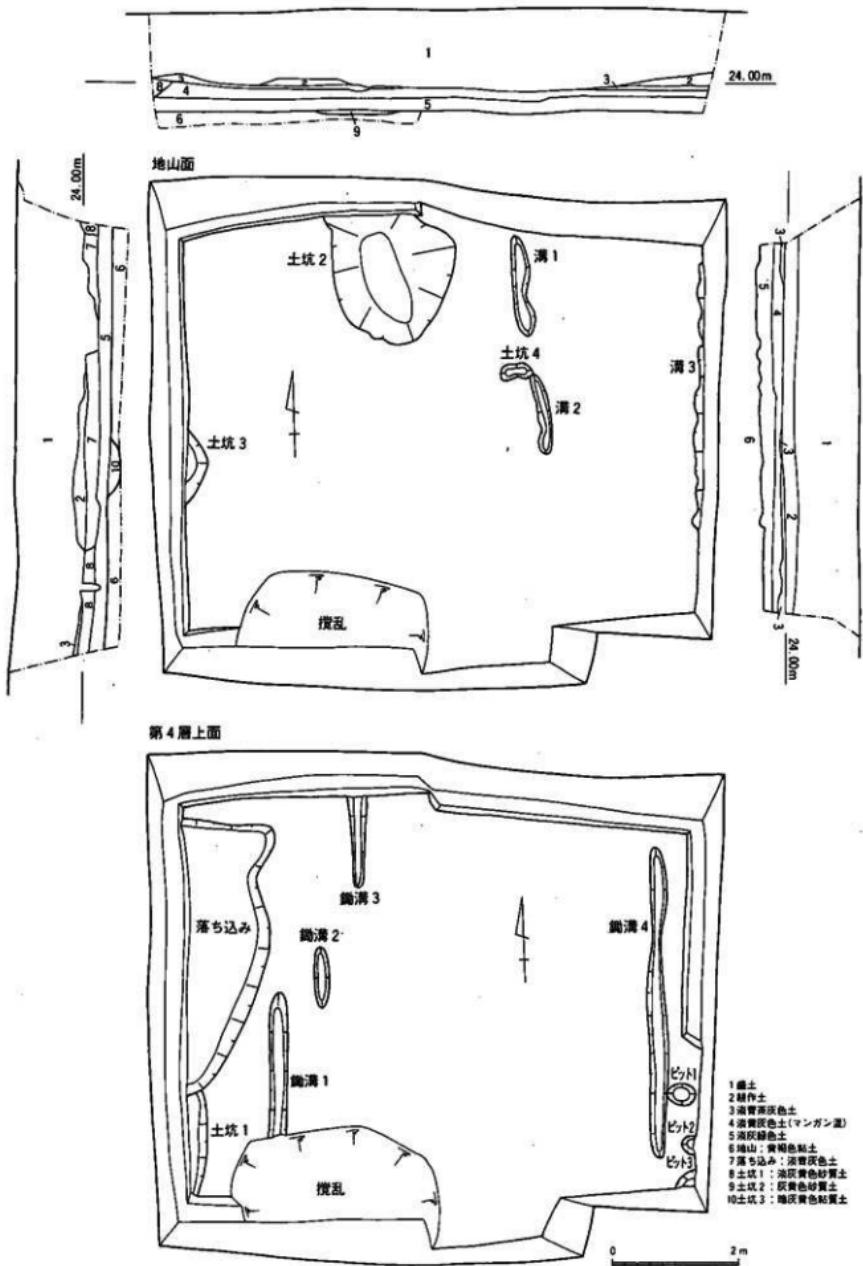
調査は調査区内に2.8m×1.8mのトレンチを設定し実施した。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡青茶灰色土、第4層淡黄灰色土(マンガン混)、第5層淡灰白色粘土(黄褐色粘土混)、第6層黄褐色粘土の地山である。

遺物は第3層から須恵器、土師質土器が出



第34図 高田南遺跡08-1区 西側断面図



第35図 高田南遺跡08-3区 1トレンチ平面図・断面図

土したが、図示できるものはなかった。

遺構は検出されなかつたが、隣接する既往の調査で確認された落ち込みの埋土は今回確認された第5層と同じであるため、第5層は中世期の包含層と思われる。

## (2) 08-3区(第32・33・35・36図)

調査区は高田南遺跡の北部に位置する。

調査は調査区内に $70.11\text{m}^2$ の1トレンチおよび、 $5.25\text{m}^2$ の2トレンチを設定し実施した。

1トレンチでは南側に一部搅乱が見られる以外は遺構が検出されたが、2トレンチでは搅乱が地山より下部に至り、遺構検出面は残存していないかった。

1トレンチは掘削の都合上、西側と東側に分けて掘削したため写真は分割されている。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡青茶灰色土、第4層淡黄灰色土(マンガン混)、第5層淡灰緑色土、第6層黄褐色粘土の地山である。地山は盛土上面から $1.5\sim1.8\text{m}$ の深さで検出した。

遺物は第2層から土師質土器、瓦器、第4層からサヌカイト、須恵器、黒色土器、瓦器、土師質土器、瓦質土器、瓦質有孔土錐、第5層から土師器、須恵器、土師質土器、瓦器、製塩土器、貝殻が出土している。1は第4層から出土した瓦器碗である。2は須恵器の杯蓋で、稜線が明瞭で口縁部に段を有する。第5層から出土した。出土遺物から第4・5層は中世期以降の堆積と考えられる。

遺構は第4層上面および地山面で検出した。第4層上面では土坑を1基、鋤溝を4条、ピットを3基、落ち込みを1検出した。土坑1の埋土は淡灰黄色砂質土で、鋤溝およびピットにはすべて第3層の淡青茶灰色土が、落ち込みには淡青灰色土が堆積していた。次いで地山面では土坑2~4、溝1・2に加え、調査区東壁に沿って溝状の遺構を検出し溝3としたが、その多くはトレンチ外である。土坑2・4および溝1・2には灰黄色砂質土が堆積しており、土坑3には暗灰黄色粘土が、溝3には第5層が堆積していた。

### —第4層上面検出遺構—

#### 鋤溝1

長さ $2.3\text{m}$ 以上、幅 $0.3\text{m}$ 、深さ $0.05\text{m}$ を測り、遺物は瓦器が出土した。

#### 落ち込み

長さ $5.06\text{m}$ 以上、幅 $1.65\text{m}$ 以上、深さ $0.26\text{m}$ の不定形の落ち込みである。遺物は須恵器、土師質土器、瓦器、土師質真蛸壺が出土した。3は瓦器碗で、断面が三角形に近い高台をもつ。

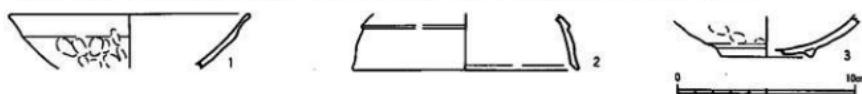
### —地山面検出遺構—

#### 溝2

長さ $1.28\text{m}$ 、幅 $0.21\text{m}$ 、深さ $0.07\text{m}$ を測る。遺物は土師器、須恵器が出土した。

#### 土坑2

長辺 $2.25\text{m}$ 以上、短辺 $2.05\text{m}$ 、深さは $0.31\text{m}$ である。遺物は出土していない。



第36図 高田南遺跡08-3区 出土遺物

## 第8節 箱作今池遺跡

箱作今池遺跡は東西約920m、南北約730mの遺跡で、縄文時代から江戸時代までの複合遺跡として知られていたが、1993(平成5)年、(財)大阪府文化財調査研究センターが遺跡南部において行った調査により限られた範囲ではあるが、奈良時代の掘立柱建物群が確認され、中世期にはほぼ全面が耕地化されていたことがわかった。一方、遺跡北部においては小規模な調査が多く、中世期から近世期の遺構・遺物ともに検出しているものの詳細はわかっていない。

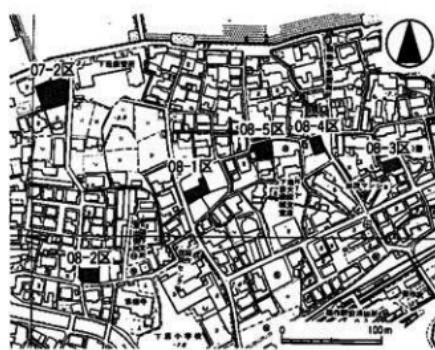
### (1) 07-2区(第37~39図)

調査区は箱作今池遺跡の北西部に位置する。調査は調査区内に3.0m×1.7mのトレンチを設定し実施した。

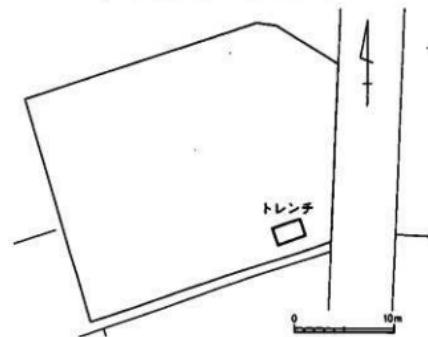
基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層橙灰褐色土、第4層暗灰色土(淡茶色粘土混)、第5層黄灰褐色粘土の地山である。地山面はトレンチの南東から北西に向かって傾斜しており、第4層は落ち込み埋土の可能性がある。

遺物は第3層から土師質土器、陶器、第4層から土師質土器、土師質婧壺が出土した。

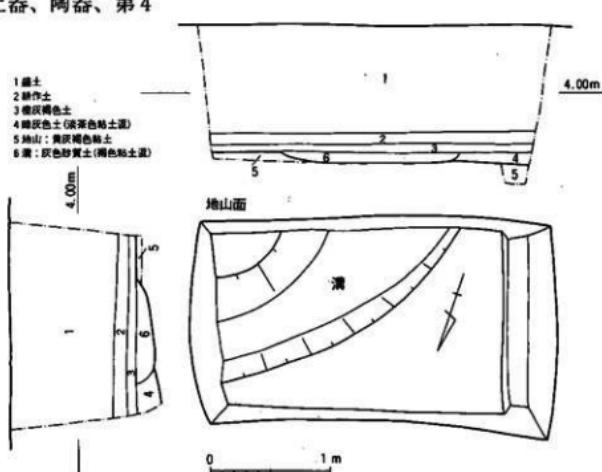
遺構は地山面で溝を1条検出した。長さ2.00m以上、幅1.50m、深さ0.10mで、埋土は灰色砂質土(褐色粘土混)である。遺物は須恵器、土師質土器が出士したが、図示できるものはなかった。



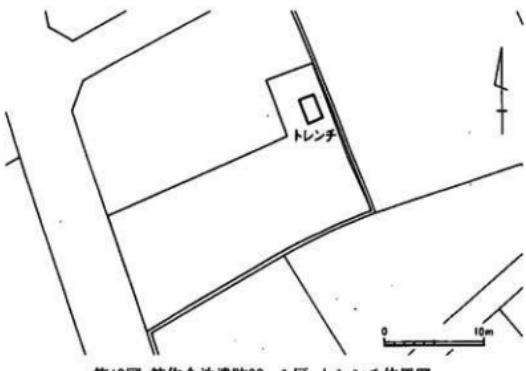
第37図 箱作今池遺跡 調査区位置図



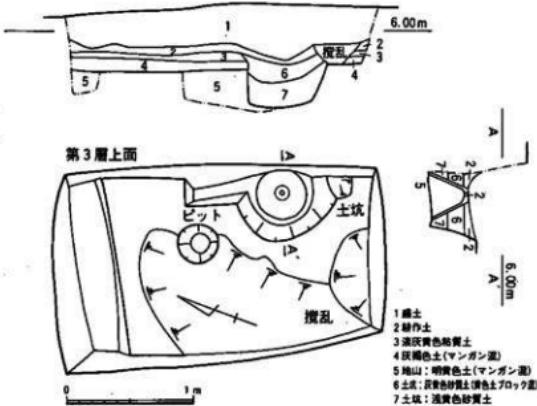
第38図 箱作今池遺跡07-2区 トレンチ位置図



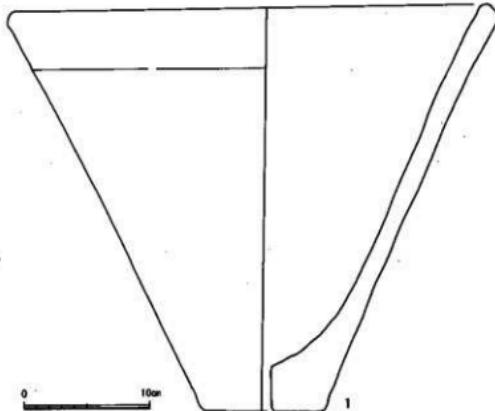
第39図 箱作今池遺跡07-2区 トレンチ平面図・断面図



第40図 箱作今池遺跡08-1区 トレンチ位置図



第41図 箱作今池遺跡08-1区 トレンチ平面図・断面図



第42図 箱作今池遺跡08-1区 出土遺物

## (2) 08-1区(第37・40~42図)

調査区は箱作今池遺跡の北部に位置する。

調査は調査区内に $2.5\text{m} \times 1.6\text{m}$ のトレンチを設定し実施した。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡灰青色粘質土、第4層灰褐色土(マンガン混)、第5層明黄色土(マンガン混)の地山である。地山は表土から $0.5\text{m}$ の深さで検出した。

遺物は第3層からサヌカイト、土師質土器、瓦器が出土した。中世期以降の堆積であると考えられる。

遺構は第3層上面においてピットと土坑を検出した。ピットは直径 $0.31\text{m}$ 、深さ $0.07\text{m}$ を測り、埋土は上層が淡黄色砂質土、下層が暗茶灰色砂質土である。遺物は出土しなかった。土坑は南北 $0.80\text{m}$ 、東西 $0.48\text{m}$ 以上、深さ $0.43\text{m}$ を測り、完形の土師質瓦漏が上下逆に置かれた状態で出土し、その他の供伴遺物はなかった。埋土は上層から灰黄色砂質土(黄色土ブロック混)、浅黄色砂質土であるが、瓦漏内部は空洞であった。1は口径 $38.9\text{cm}$ 、器高 $31.9\text{cm}$ 、底径 $10.1\text{cm}$ の製糖に用いられた土師質の瓦漏で、底部中央には焼成前に直径 $2.3\text{cm}$ の穿孔がされている。阪南市域の製糖は文献資料によると、近世期後半から明治初期にかけて盛んに行われたようで、この瓦漏もその時期に使用されたものと思われる。また、馬川遺跡94-4区の調査でも土坑から完形の瓦漏が上下逆の状態で出土している。

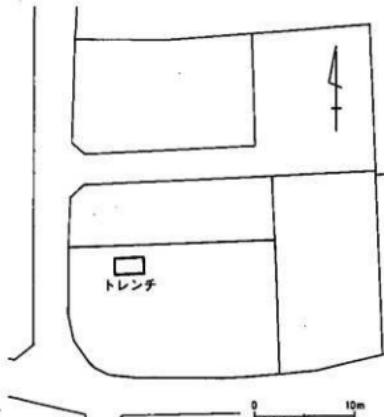
(3) 08-2区(第37・43~45図)

調査区は箱作今池遺跡の北部に位置する。

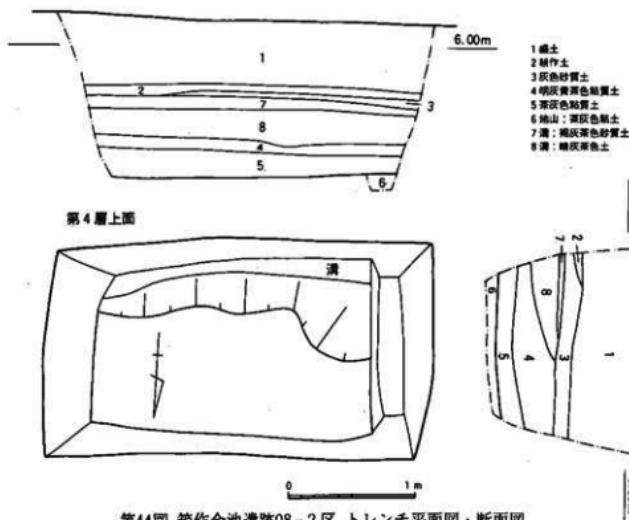
調査は調査区内に2.9m×1.6mのトレンチを設定し実施した。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層灰色砂質土、第4層明灰黄茶色粘質土、第5層茶灰色粘質土、第6層茶灰色粘土の地山である。地山は地表から1.2mの深さで検出した。

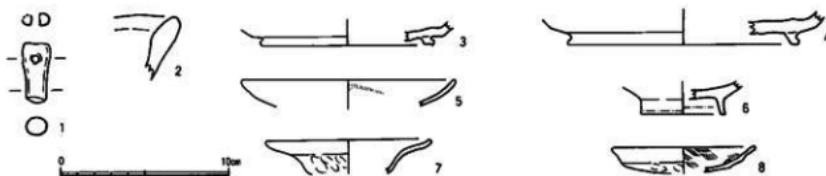
遺物は第3層から土師質土器、瓦器、土師質蜻壺、近世瓦、陶器、磁器、第4層から須恵器、黒色土器、土師質土器、瓦器、奈良時代の製塩土器、土師質蜻壺、土師質有孔土錐、第5層からサヌカイト、弥生土器、土師器、須恵器、弥生時代および古墳時代の製塩土器が出土した。



第43図 箱作今池遺跡08-2区 トレンチ位置図



第44図 箱作今池遺跡08-2区 トレンチ平面図・断面図



第45図 箱作今池遺跡08-2区 出土遺物

第3・4層は中世期以降、第5層は奈良時代の堆積と考えられる。1は土師質有孔土錐、2は奈良時代の製塩土器で第4層から、3・4は第5層から出土した須恵器杯身で、いずれも高台は低く、外側に開く。

遺構は第4層上面でトレンチを東西に貫く溝を1条検出した。幅0.80m以上、深さ0.04mで、埋土は上層が褐灰茶色砂質土、下層が暗灰茶色土である。遺物は上層から須恵器、土師質土器、瓦器、土師質蛸壺、中世瓦、陶器、磁器、下層から土師器、須恵器、瓦器、奈良時代の製塩土器が出土した。5は磁器で波佐見焼の皿、6は肥前系陶器の椀で上層から、7は土師質土器の皿、8は瓦器皿で下層から出土した。

#### (4) 08-3区(第37・46・47図)

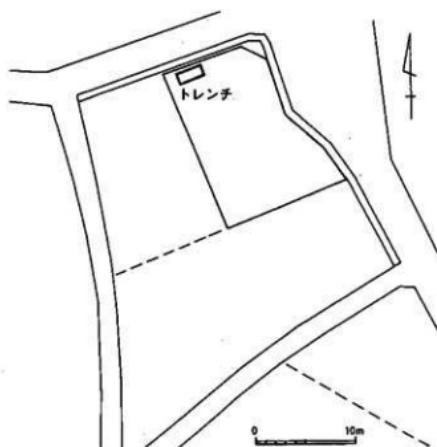
調査区は箱作今池遺跡の北部に位置する。

調査は調査区内に2.5m×1.3mのトレンチを設定し実施した。

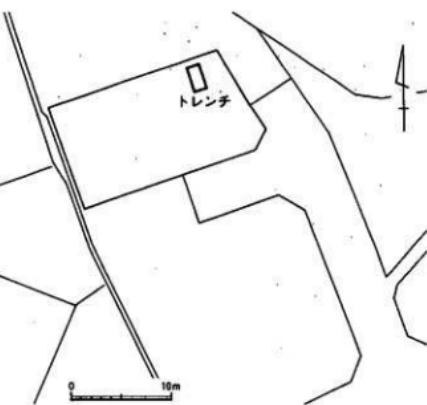
基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層灰茶色砂質土、第4層褐黃灰色礫混土の地山である。

遺物は第3層から須恵器、土師質土器、瓦質土器、土師質蛸壺、焼土が出土した。第3層は中世期の包含層と思われる。

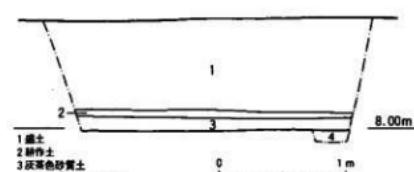
遺構は検出されなかった。



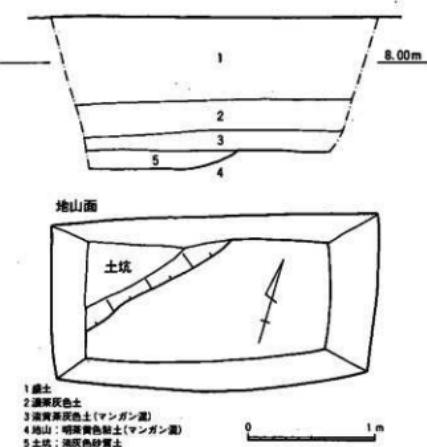
第46図 箱作今池遺跡08-3区 トレンチ位置図



第47図 箱作今池遺跡08-3区 トレンチ東側断面図



第48図 箱作今池遺跡08-4区 トレンチ位置図



第49図 箱作今池遺跡08-4区 トレンチ平面図・断面図

(5) 08-4区(第37・48・49図)

調査区は箱作今池遺跡の北部に位置する。

調査は調査区内に2.6m×1.2mのトレンチを設定し実施した。

基本層序は第1層盛土、第2層濃茶灰色土、第3層淡黄茶灰色土(マンガン混)、第4層明茶黄色粘土(マンガン混)の地山である。

遺物は第2層から須恵器、土師質靖壺、中世・近世瓦、陶器、磁器、鉄製品、第3層から須恵器、土師質土器、瓦器、土師質靖壺、土師質管状土錐、中世瓦、陶器が出土した。第2層は近世期、第3層は中世期の堆積と思われる。

遺構は地表面で土坑を1基検出した。東西1.15m以上、南北0.70m以上、深さ0.60mを測るが大部分はトレンチ外に延びる。埋土は淡灰色砂質土で、遺物は土師質靖壺が出土したが、小片のため図示できなかった。

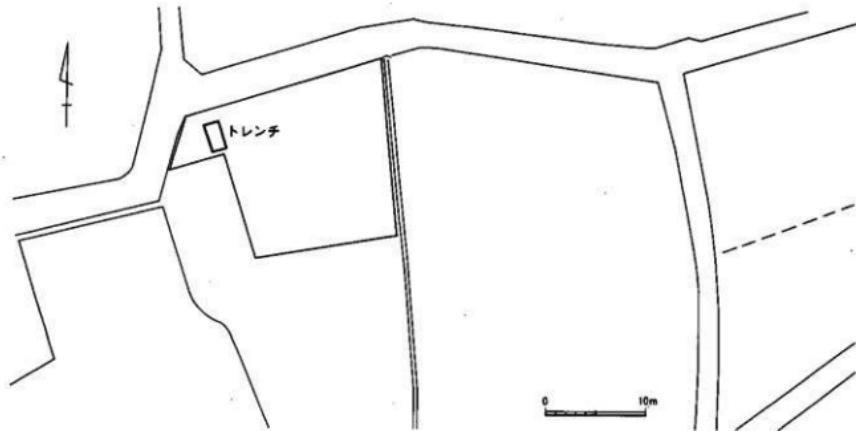
(6) 08-5区(第37・50・51図)

調査区は箱作今池遺跡の北部に位置する。

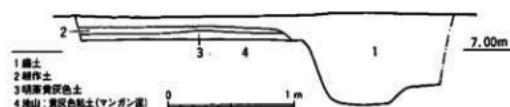
調査は調査区内に3.0m×1.5mのトレンチを設定し実施した。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層明茶黃灰色土、第4層黃灰色粘土(マンガン混)の地山である。遺物は耕作土から土師質土器、瓦器、土師質靖壺が出土したのみである。

遺構は検出されなかった。



第50図 箱作今池遺跡08-5区 トレンチ位置図



第51図 箱作今池遺跡08-5区 トレンチ西側断面図

## 第9節 田山東遺跡

田山東遺跡は1988(昭和63)年度に当市教育委員会が行った埋蔵文化財分布調査により発見周知された遺跡で、西側に隣接している田山遺跡は奈良時代の製塩関連遺物や輸入陶磁器が数多く出土する漁業関係の集落の存在が伺え、当遺跡での調査件数は少ないと、それに類似する遺跡と推定されている。

### (1) 08-1区(第52~55図)

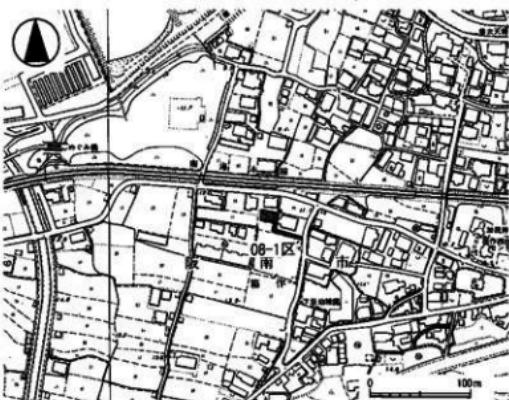
調査区は田山東遺跡の南部に位置する。

調査区内に2.5m×1.3mのトレンチを設定し調査を実施した。

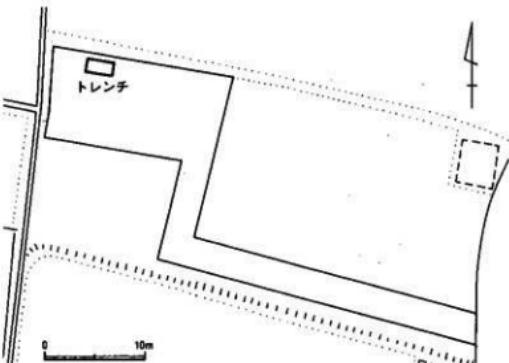
基本層序は第1層耕作土、第2層淡灰色砂質土、第3層明橙褐色土、第4層淡橙茶色土(マンガン混)、第5層淡黄灰色粘質土(マンガン混)、第6層淡黄茶色土、第7層茶黄色礫混土で、第6層以下は地山である。

遺物は第2層から土師質土器、瓦器、土師質蜻壺、第3層から土師質土器、土師質蜻壺、青磁、磁器、第4層から須恵器、土師質土器、瓦器、土師質蜻壺が出土した。第2~4層は中世期の包含層と思われる。第5層から遺物は出土していないが、隣接する調査区では遺物が出土しているため包含層と判断した。1は口径9.0cm、高さ2.3cmの土師質土器の小皿で、第2層から出土した。

遺構は検出されなかった。



第52図 田山東遺跡 調査区位置図



第53図 田山東遺跡08-1区 トレンチ位置図



第54図 田山東遺跡08-1区 トレンチ南側断面図

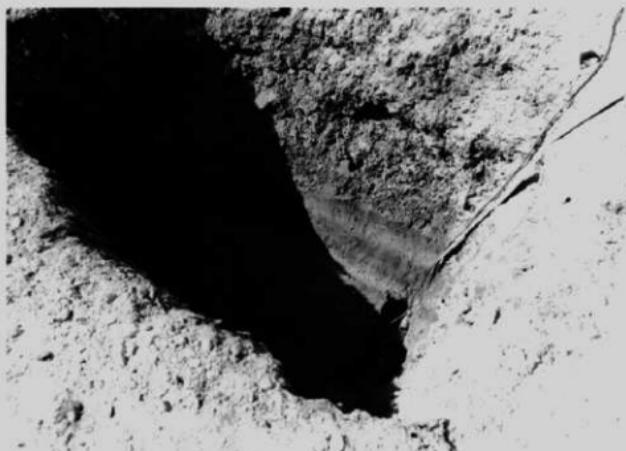


第55図 田山東遺跡08-1区 出土遺物

# 報告書抄録

ふりがな	はんなんしまいぞうぶんかざいはくつちょうさがいよう 26						
書名	阪南市埋蔵文化財発掘調査概要 X XVI						
副書名							
卷次							
シリーズ名	阪南市埋蔵文化財報告						
シリーズ番号	45						
編著者名	三好義三・田中早苗・上野仁・横田明日香・田之上裕子						
編集機関	阪南市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課						
所在地	〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1 TEL 072-471-5678						
発行年月日	2009年3月31日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村番号	北緯 遺跡番号	東経 ° ° °	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
尾崎清水	尾崎町	27232	68	34 34 08	135 24 76	20080321～0324	5.04 個人住宅
下出北	下出	27232	66	34 35 32	135 25 32	20080703～0704	2.73 個人住宅
神光寺(蓮池)	石田	27232	20	34 34 27	135 24 76	20080108～0109	3.25 個人住宅
神光寺(蓮池)	石田	27232	20	34 34 27	135 24 76	20080227～0228	5.10 個人住宅
神光寺(蓮池)	石田	27232	20	34 34 27	135 24 76	20080325～0326	5.10 個人住宅
神光寺(蓮池)	石田	27232	20	34 34 16	135 24 74	20080328～0331	4.48 個人住宅
神光寺(蓮池)	石田	27232	20	34 34 27	135 24 76	20080508～0509	5.10 個人住宅
向出	自然田	27232	43	34 34 81	135 25 78	20080625～0626	3.75 個人住宅
向出	自然田	27232	43	34 34 81	135 25 78	20080801～0804	4.32 個人住宅
向山	自然田	27232	47	34 34 36	135 25 78	20081031～1104	3.92 個人住宅
自然田	自然田	27232	35	34 33 87	135 25 71	20080725～0726	2.76 個人住宅
高田南	和泉鳥取	27232	46	34 34 40	135 26 28	20080811～0812	5.04 個人住宅
高田南	和泉鳥取	27232	46	34 34 40	135 26 28	20081215～1226	75.36 個人住宅
箱作今池	箱作	27232	24	34 33 98	135 21 21	20080122～0123	5.10 個人住宅
箱作今池	箱作	27232	24	34 33 89	135 21 35	20080514～0515	4.00 個人住宅
箱作今池	箱作	27232	24	34 33 82	135 21 24	20080620～0623	4.64 個人住宅
箱作今池	箱作	27232	24	34 33 92	135 21 56	20080716～0717	3.25 個人住宅
箱作今池	箱作	27232	24	34 33 93	135 21 49	20080925～0926	3.12 個人住宅
箱作今池	箱作	27232	24	34 33 94	135 21 43	20081006～1007	4.50 個人住宅
田山東	箱作	27232	58	34 33 63	135 20 82	20081024～1027	3.25 個人住宅

遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
尾崎清水	散布地	中世期	なし	須恵器、土師質土器、瓦器、陶器、磁器	
下出北	散布地	中世期～近世期	なし	サヌカイト、須恵器、土師質土器、土師質管状土錐、青磁、磁器	
神光寺(蓮池)	散布地	中世期	溝	サヌカイト、須恵器、土師質土器、瓦器、土師質管状土錐	
神光寺(蓮池)	散布地	中世期	なし	須恵器、土師質土器、瓦器、鉱滓	
神光寺(蓮池)	散布地	中世期	なし	須恵器、黑色土器、土師質土器、瓦器	
神光寺(蓮池)	散布地	中世期	なし	土師質土器、瓦器、土師質管状土錐、中世瓦	
神光寺(蓮池)	散布地	不明	なし	土師質土器、瓦器	
向出	散布地	中世期～近世期	なし	黒色土器、土師質土器、瓦器、近世瓦	
向出	散布地	中世期～近世期	溝、ピット	土師器、須恵器、土師質土器、瓦器	
向山	散布地	不明	土坑	土師器、土師質土器	
自然田	散布地	不明	なし	中世瓦、陶器、磁器	
高田南	散布地	中世期	なし	須恵器、土師質土器	
高田南	散布地	中世期～近世期	鋤溝、溝 土坑、ピット 落ち込み	サヌカイト、土師器、須恵器、 黒色土器、土師質土器、瓦器、 瓦質土器、製塙土器、土師質 蛸壺、瓦質有孔土錐、貝殻	
箱作今池	散布地	不明	溝	須恵器、土師質土器、土師質 蛸壺、陶器	
箱作今池	散布地	中世期～近世期	土坑、ピット	サヌカイト、土師質土器、瓦器、 土師質瓦漏	
箱作今池	散布地	奈良時代～近世期	溝	サヌカイト、弥生土器、土師器、 須恵器、黒色土器、土師質土器、 瓦器、製塙土器、土師質 蛸壺、土師質有孔土錐、 中世瓦、近世瓦、陶器、磁器	
箱作今池	散布地	中世期	なし	須恵器、土師質土器、瓦質土器、 土師質蛸壺、焼土	
箱作今池	散布地	中世期～近世期	土坑	須恵器、瓦器、土師質 蛸壺、中世瓦、近世瓦、 陶器、磁器、鉄製品	
箱作今池	散布地	不明	なし	土師質土器、瓦器、土師質 蛸壺	
田山東	散布地	中世期	なし	須恵器、土師質土器、瓦器、 土師質蛸壺、青磁、磁器	



尾崎清水遺跡07-2区  
トレンチ全景(南より)



下出北遺跡08-1区  
トレンチ全景(西より)



神光寺(蓮池)遺跡07-11区  
トレンチ全景(北より)



神光寺(蓮池)遺跡07-12区  
トレンチ全景(南より)



神光寺(蓮池)遺跡07-13区  
トレンチ全景(南より)



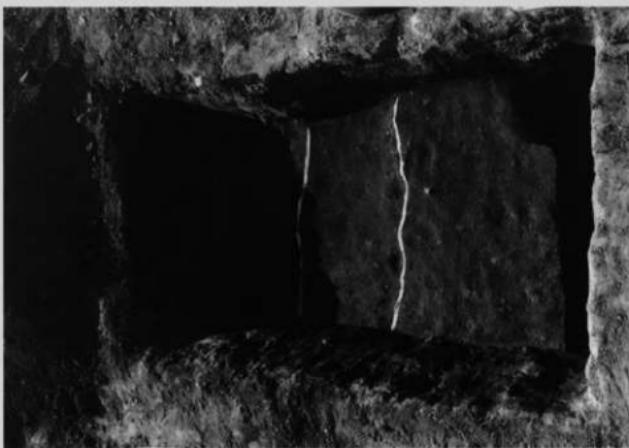
神光寺(蓮池)遺跡07-14区  
トレンチ全景(東より)



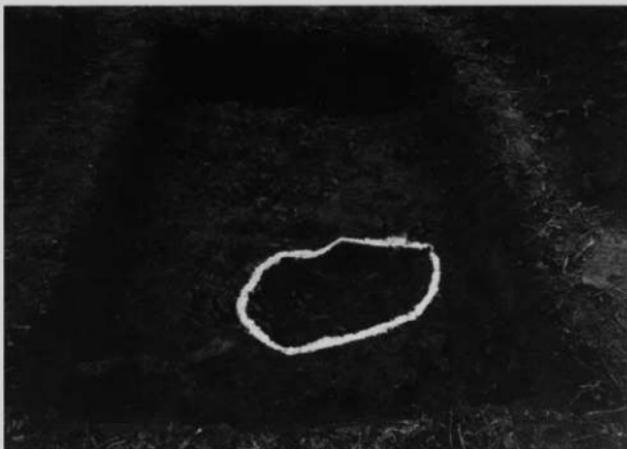
神光寺(蓮池)遺跡08-1区  
トレンチ全景(東より)



向出遺跡08-1区  
トレンチ全景(北より)



向出遺跡08-2区  
トレンチ全景(東より)



向山遺跡08-1区  
トレンチ全景(西より)



自然田遺跡08-2区  
トレンチ全景(南より)



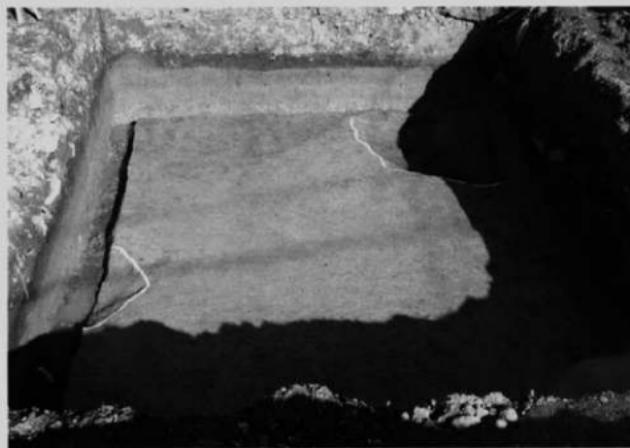
高田南遺跡08-1区  
トレンチ全景(南より)



高田南遺跡08-3区  
1トレンチ西側第4層上面遺構(北より)



高田南遺跡08-3区  
1トレンチ東側第4層上面遺構(北より)



高田南遺跡08-3区  
1トレンチ西側地表面遺構(南より)



高田南遺跡08-3区  
1トレンチ東側地山面遺構(北より)



箱作今池遺跡07-2区  
トレンチ全景(北より)



箱作今池遺跡08-1区  
トレンチ全景(南より)



箱作今池遺跡08-1区  
土坑内遺物出土状況(西より)



箱作今池遺跡08-2区  
トレンチ全景(東より)



箱作今池遺跡08-3区  
トレンチ全景(北より)



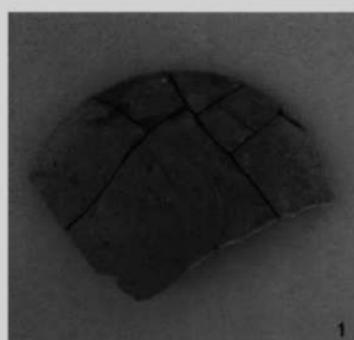
箱作今池遺跡08-4区  
トレンチ全景(東より)



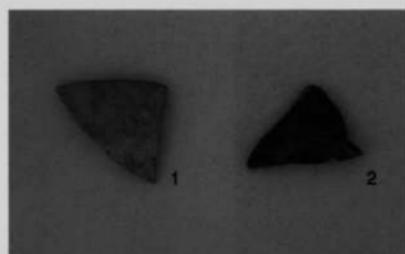
箱作今池遺跡08-5区  
トレンチ全景(南より)



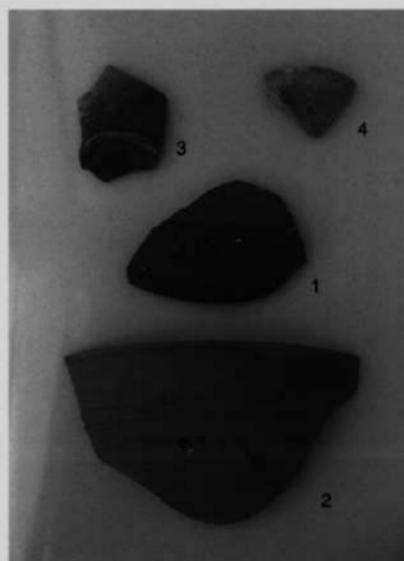
田山東遺跡08-1区  
トレンチ全景(東より)



神光寺(蓮池)遺跡07-12区 出土遺物



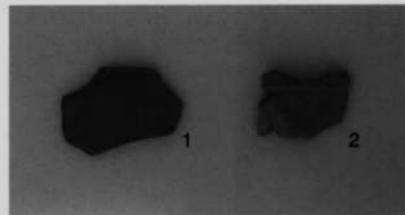
神光寺(蓮池)遺跡07-13区 出土遺物



向出遺跡08-2区 出土遺物



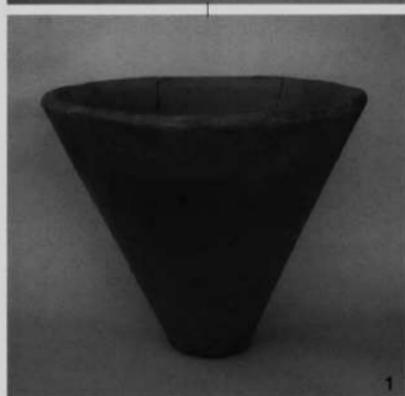
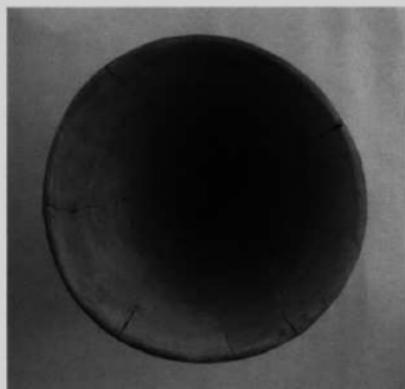
神光寺(蓮池)遺跡07-14区 出土遺物



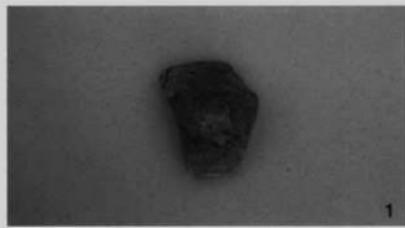
高田南遺跡08-3区 出土遺物



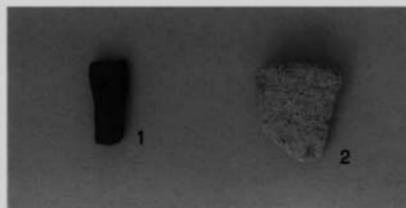
高田南遺跡08-3区 出土遺物



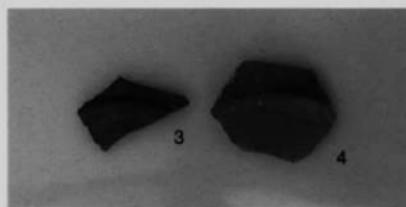
箱作今池遺跡08-1区 出土遺物



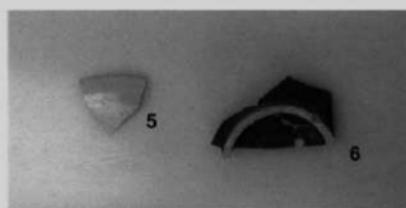
田山東遺跡08-1区 出土遺物



箱作今池遺跡08-2区 出土遺物



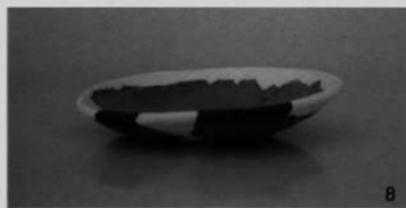
箱作今池遺跡08-2区 出土遺物



箱作今池遺跡08-2区 出土遺物



箱作今池遺跡08-2区 出土遺物



箱作今池遺跡08-2区 出土遺物

阪南市埋蔵文化財報告 45

阪南市埋蔵文化財発掘調査概要 XXVI

2009年3月

発行：阪南市教育委員会  
生涯学習部生涯学習推進課  
大阪府阪南市尾崎町35の1

印刷者：株式会社 帯谷印刷所  
大阪府貝塚市北町19番14号